

AGRI WORK POINT

アグリ ワーク ポイント



令和4年産米集荷結果

農業経営支援課 渡辺彰人

令和4年産は、豊作で食味が優れる一方、高温やカメムシによる被害に悩まされた年になりました。

早生の「コシヒカリ」は高温による心白粒や腹白粒が多く、厳しい結果でした。また、カメムシによる着色米が非常に多く、中生の「ぎぬむすめ」や晩生の「あいちのかおり」、「にこまる」等で特に問題となっています。

11月末時点の集荷量

1393トン 目標対比123% (前年対比102%)

一等米比率

- コシヒカリ (早生) 39% (昨年51%・一昨年19%)
- きぬむすめ (中生) 42% (昨年57%・一昨年60%)
- あいちのかおり (晩生) 42% (昨年78%・一昨年50%)
- 全体 45% (昨年65%・一昨年43%)

等級落ち理由トップ3

- 1位..カメムシによる着色粒 60%
- 2位..心白粒 19%
- 3位..腹白粒 3%

対策のポイント

○カメムシ対策

農道・空き地・畦畔等のイネ科雑草を出穂2週間前までに除草しましょう。

農薬による防除は複数回行います。

1回目..穂揃い期

2〜3回目..前回散布から7〜10日後

近年多発している「イネカメムシ」による基部斑点米は色彩選別機により取り除くことが難しいため、除草や農薬による防除を必ず行って下さい。